



昨年春の「東日本大震災」以降、今後予想される地震災害が注目され、震災に伴う消防体制の強化が迫られています。少子高齢社会を迎え、地域での迅速で確実な消防力の充実が求められており、県西地域の広域的な消防体制づくりが来春の始動に向けて進められていますが、一方、地元の身近な消防力として松田町消防団（鍵和田儀一団長、8 個分団140人）の体制強化もますます必要となっています。＝関連記事 2 面に

わがまちは自分たちの手で守る



松田町消防団は、「自分たちのまちは自分たちの手で守る」という理念のもとに、地域住民の生命・身体・財産を守るために設置されています。普段は本職を持ちながら、地域の有志の人々によって組織されており、進んで公共の

「いざ」に日夜の備え

ために尽力するボランティア的な性格が強い組織ですが、松田町の公的な消防機関であり、足柄消防組合と協力して日夜、火災、災害や人命の救助に活動するとともに、火災予防などの普及啓発活動や各訓練に参加しています。

◆消防ポンプ性能を検査
酒匂川左岸河川敷で 5 月 12 日（土）、松田町消防団による消防ポンプ性能検査と礼式訓練が行われました。

毎年 1 回、足柄消防組合の協力を得て、消防団に配備されている消防ポンプ自動車と可搬ポンプが適正に維持管理されているかを、一斉に検査するものです。

また、礼式訓練は、団員が各分団長の指揮の下、秩序・統制のとれた



写真は、いざ水防演習の予行演習（5月13日、酒匂川・新十文字橋上流）。クイ作り①、砂袋の土のう作り②、と大井町消防団による梓組み工法③

消防団活動を的確に行うための基本となり、有事の際に役立つものです。ことは、松田町消防団、足柄消防組合、谷戸自治会と湯の沢自治会から 120 人が参加して実施され、併せて新入団員 4 人の辞令交付が行われました。

◆県消防操法大会へ出場

このほかに、各分団では定期的に管轄内の防火水槽や消火栓・消火器点検を実施し、町民の生活を守るために日夜活動をしています。

◆8年ぶり町で水防演習
5月27日（日）には、酒匂川町民親水広場で神奈川県、1市5町と足柄消防組合などの合同により水防演習が実施されました。松田町で水防訓練が実施されたのは平成16年以来、8年ぶりです。

この演習は、近年、全国各地で豪雨や台風などによる水害が増加して

この大会は、県内の消防団員が教育訓練の集大成として消防操法の競技を実施することにより、一層の技術の向上と士気の高揚、消防団員の活動能力の強化を図ることを目的とし開催されています。第5分団員は足柄消防組合の指導のもと、昼夜を問わず厳しい練習にも耐え、大会に挑みます。

消防団員を募集

松田町消防団では随時、新入団員を募集しています。基本的には、松田町に居住し、18歳以上45歳未満の健康な人であれば入団できることになっています。現在、消防団員数の減少や高齢化が進んでおり、若い人々の力を必要としています。「郷

土を守る」という心意気のある方の入団を心よりお待ちしております。ただし、消防団員には定員があり、居住地によっては入団を募集していない分団もありますので、あらかじめご承知おきください。

問 庶務課防災防犯係 ☎(83)12221